

第5章 計画の数値目標

目標項目		現状値 令和2年度	目標値 令和8年度	
1	食育に関心を持っている人の割合の増加	18歳以上	72.2%	90%以上
		中学生から18歳未満	60.4%	70%以上
2	食に関するボランティア数の増加	4,564人	10%以上増加	
3	栄養バランス等を意識した食生活を送っている人の割合の増加	76.3%	80%以上	
4	食事をよく噛んで味わって食べる人の割合の増加	45.9%	55%以上	
5	食品の選択・調理方法について知識のある人の割合の増加	73.4%	90%以上	
6	朝食を食べない人の割合の減少	20～30歳代の男性	22.5%	15%以下
		20～30歳代の女性	15.3%	10%以下
7	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 (朝食+夕食の週平均) ※1下記参照	週10.1回	週11回以上	
8	学校給食への地場産物活用率 給食用食材に県内産の食材(肉・野菜等)を使用する割合 (重量ベース) ※2下記参照	63.8%	70%	
9	生活習慣病予防や改善のために、普段から食生活に気をつけている人の割合の増加	62.8%	75%以上	
10	地域等で共食したいと思う人が共食する割合の増加	77.6%	85%以上	
11	地場産の農林水産物を意識して購入する人の割合の増加	81.1%	90%以上	
12	農林漁業体験を経験した人の割合の増加	18歳以上	59.6%	85%以上
		中学生から18歳未満	81.5%	95%以上
		未就学児・小学生	84.0%	95%以上
13	郷土料理や家庭料理、作法などを受け継いでいる人の割合の増加	47.5%	55%以上	
14	食品ロスを知っている人の割合の増加	89.5%	95%以上	

※1:「ほとんど毎日」を週7回、「週に4～5日」を4.5回、「週に2～3日」を2.5回、「週に1日程度」を1回として、朝食・夕食ごと(設問ごと)に、当該人数を掛け、合計したものを全体数で割り、朝食と夕食の回数を足して週当たりの回数を算出する。

※2:主食とする米・小麦粉及び牛乳以外